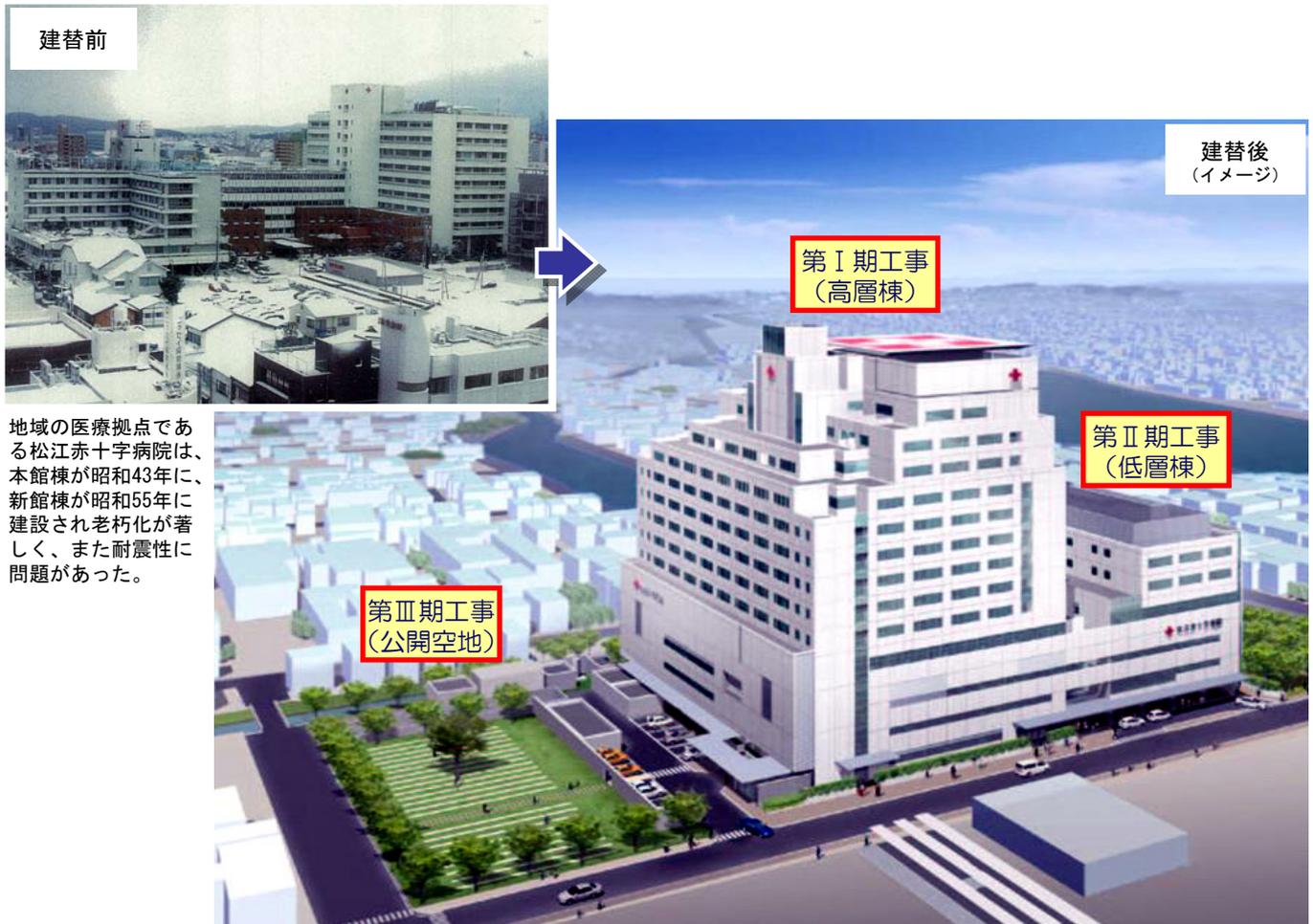


ほろまちちく 母衣町地区

現位置での病院建て替え支援によるまちなか居住の推進



建替前

建替後
(イメージ)

第Ⅰ期工事
(高層棟)

第Ⅱ期工事
(低層棟)

第Ⅲ期工事
(公開空地)

地域の医療拠点である松江赤十字病院は、本館棟が昭和43年に、新館棟が昭和55年に建設され老朽化が著しく、また耐震性に問題があった。

図 赤十字病院建替後のイメージ

事業の各段階のポイント

計画策定時のポイント

～赤十字病院の郊外移転からまちなか建て替えへの変更～

平成17年に松江市立病院が郊外移転したことにより、中心市街地に位置する拠点病院は松江赤十字病院のみとなっていた。建替にあたり、当初は郊外移転も検討していたが、医療施策上の観点から県・市と協議した結果、現地建替を実施することになった。

～まちなか建て替えにおける資金計画でのデメリット～

- ① 現在敷地を売却することにより事業費を捻出できるが、建て替えの場合それができない。
- ② 高層化に伴い工事費が増大する。

～2つの省庁の補助制度を活用～

建て替えにあたっては、厚生労働省と国土交通省の補助事業制度を活用することで、総事業費の26.5%の拠出が可能となり、事業推進が図られている。

～街なか建替によるまちづくりへの効果～

交通至便な中心市街地での建替であることから、付近住民のみならず交通弱者である高齢者の安心にもつながる。また、通院者、看護者等による、周辺商店街等への経済的効果も期待できる。

厚生労働省（医療施設・設備）補助

医療施設への補助

- ・ 医療施設等整備費補助金
- ・ 医療提供体制施設整備費交付金
- ・ 保健衛生施設等整備費補助金

医療設備への補助

- ・ 医療設備補助金

国土交通省（暮らしにぎ）補助

都市機能まちなか立地支援

- ・ 施設内通行部分整備費等
(EV、廊下、階段等、解体費)

賑わい空間施設整備

- ・ 公開空地整備費

図 補助事業の内容

(注) 事業の各段階のポイントは、各事業関係者より情報提供いただいた内容を取りまとめたものです。

事業の位置づけや背景

本地区は、松江市の中心市街地に位置し、周辺には県庁などの主要施設があり恵まれた立地条件を有しているが、近年の居住人口の減少と大型商業施設の駅前への移転などにより急速に空洞化が進んでいる。

そうした中で、地域の核施設の一つである松江赤十字病院について、老朽化による建て替えに伴う、本病院の地区外移転を回避するため、現地建て替えを支援し、本病院を核とした快適で安全、そして賑わいと活力ある中心市街地の形成を図ることを目的に平成18年度から事業に取り組んでおり、平成20年5月策定した「松江市中心市街地活性化基本計画」のなかに位置づけられている。

地区等の問題点・課題

本地区は、主要な公共施設が立地しているが、居住人口の減少と高齢化の進展、核となる商業施設の移転、市立病院の郊外移転により空洞化が著しく、急速な疲弊状況に陥っていた。

そのような中、地域の核施設である松江赤十字病院も老朽化による建て替えを契機に、郊外移転する計画が浮上した。総事業費の問題から主要な都市機能が流出しそうな状況を防ぎ、本事業の活用により現地建て替えにより主要な都市機能の維持を図る必要があった。

事業内容

中心市街地の核施設である松江赤十字病院の現地建て替えに際し、土地整備（建築物除去）、公開空地整備、施設内通行部分整備等を実施する。

■事業計画諸元

○事業名：暮らし・にぎわい再生事業
【母衣町地区】

○事業主体：島根県・松江市

○位置：松江市母衣町200番地

○総事業費：約170億円

○事業概要：

- ・ 施行期間：平成18年度～平成24年度
- ・ 施行者：松江赤十字病院
- ・ 構造規模：SRC造・S造
地下1F・地上14F
- ・ 延床面積：9,358㎡
- ・ 公開空地：1,116㎡

■事業経緯

平成18年10月	暮らし・にぎわい再生事業計画同意
平成19年2月	建築工事着工
平成19年11月	暮らし・にぎわい再生事業計画変更
平成20年7月	中心市街地活性化基本計画認定
平成21年12月	高層棟完成（予定）
平成22年4月	高層棟開業（予定）
平成22年6月	低層棟着工（予定）
平成23年12月	低層棟完成（予定）
平成24年4月	低層棟開業、公開空地整備（予定）
平成24年7月	全体竣工（予定）

〈中心市街地活性化基本計画の概要〉

○まちづくりのテーマ

「住んでよし、訪れてよしの“松江らしい”まちづくり」

○基本方針

「観光・交流」
「近隣集客拠点」
「まちなか居住」

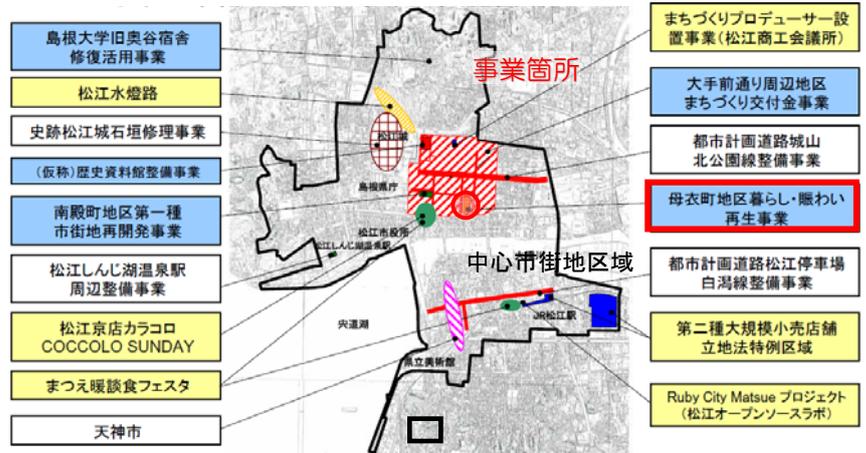


図 中心市街地活性化事業位置図

事業の目標・整備方針

【事業目標】

老朽化した松江赤十字病院の現地建て替えにより、病院を核とした快適で安心な暮らしの創出、賑わいと活力のある中心市街地の形成を図る。

【整備方針】

- ①にぎわいの核となる公共公益施設（病院）の再生
- ②にぎわい空間となる公開空地の整備

事業効果

1. 補助事業の導入による資金計画の改善
2. 現有建物の現地建て替えの実施
3. にぎわいの空間となる公共空地の創出



写真 平成21年11月5日
現在の状況

■補助の内容

総事業費 約170億円（医療施設 約135億円 医療設備 約35億円）
補助額計 約45.1億円 総事業費の 26.5% 単位：億円

補助主体	医療施設設備補助	暮らしにぎわい補助	補助合計
計	約19.4	約25.7	約45.1
国	約13.0	約15.3	約28.3
島根県	約6.4	約8.9	約15.3
松江市	—	約1.5	約1.5

島根県貸付 約7.0 日赤自己資金 約117.9

〈暮らし・にぎわい再生事業補助額〉

- ・ 共同施設整備費（廊下、階段、エレベーター、解体）
- ・ 既設立体駐車場エレベーター設置
- ・ 公開空地整備費

国費 約15.3億円 県費 約8.9億円 市費 約1.5億円

図 補助金の概要

資料提供：島根県
島根県松江市